

## 第5回

# 岐阜県小児在宅医療研究会

医療的ケアを要する重症心身障がい児が年々増加し、その多くが在宅生活を送るようになってきました。岐阜県では、その支援に携わる医療、看護、福祉、教育、行政等関係者が一体となって、課題に向けて知恵を出し合うとともに、相互に交流ができる関係づくりを目指し、小児在宅医療研究会を開催しています。皆さまのご参加をお待ち申し上げます。

**テーマ** レスパイトの拡大に向けて

**日時** 平成27年7月26日(日)  
13:30~17:00(開場 13:00)

**場所** 岐阜県立看護大学 講堂  
(羽島市江吉良町3047-1)

定員  
200名様  
参加無料

## プログラム

13:30~13:35 **開会あいさつ**

久保田 芳則 岐阜県健康福祉部次長

13:35~13:50 **基調報告**

「岐阜県における短期入所の現状と課題」

山田 育康 岐阜県障がい児者医療推進室課長補佐

13:50~16:55 **シンポジウム「レスパイトの拡大に向けた取り組み」**

座長 泊 祐子 大阪医科大学 看護学部看護学科 家族看護学・小児看護学 教授

・報告：13:50~16:10

①「大阪における短期入所のドタバタ騒動記」

市村 由美子 大阪発達総合療育センター 運営局長

②「在宅医療ケアの評価入院を活用したレスパイトの取り組み」

西角 一恵 神奈川県立こども医療センター 地域医療連携室長

③「開業医と重症心身障がい児者のレスパイト～試験的な取り組みを通じて～」

折居 恒治 折居クリニック院長&障がい福祉施設こぼんだ施設長

④「多治見における医療・福祉連携によるレスパイトの取り組み～天使の居場所を求めて～」

内田 清美 在宅支援グループみんなの手 看護師

⑤「利用者の立場から～レスパイト、私の過ごし方～」

大橋 美江 ショートステイを利用して自宅で生活をおくる娘さんの母親

・総合討論：16:10~16:55

16:55~17:00 **閉会あいさつ**

都竹 淳也 岐阜県障がい児者医療推進室長

主催：岐阜県

後援：岐阜県医師会・岐阜県小児科医会・岐阜県歯科医師会・岐阜県看護協会  
お問い合わせ(事務局)：岐阜県健康福祉部地域医療推進課 障がい児者医療推進室  
〒500-8570 岐阜市藪田南2-1-1 TEL(058)272-8279 FAX(058)278-2871